



レポート

兵庫県西宮市 NPO 法人つどい場さくらちゃん／介護をしている人のたまり場。ランチつき
〒662-0972 西宮市今在家町1-3 TEL/FAX 0798-35-0251 sakurachanmaru@bca.bai.ne.jp

〈まじくる〉「つどい場」は、ほんまにおもしろいでえ〜

つどい場さくらちゃん

「阪神淡路大震災」をはさみ、10年間で母・兄・父を在宅で看取って後「1級ヘルパー」の実習先で、泣き叫ぶばあちゃんがストレッチャー上で固定され、ホースで湯をかけられ「機械浴」での入浴助にキレ、はずみで「つどい場さくらちゃん」をはじめてしまい、たくさんみなさんに支えられながら10年目を突っ走ってます。

「つどい場」＝本人・介護者・介護職・医療者・行政・社協・議員・大学福祉関係者・学生・地域活動者・子どもたち・子育て中のママ・マスコミ関係者…。誰でもが集える〈場〉、しゃべれる〈場〉、泣ける〈場〉、笑える〈場〉、…いろんな「立場」を越え、上下関係なく平たい場での人とのつながり、情報交換が〈まじくる〉。人とのつながり。

「おでかけタイ」＝からだやところが不自由になってもサポートする人と街へ、旅行へ出かけよう！ 毎年の「北海道の旅」も今年で9回目。本人・介護者・介護職・医療職が〈まじくる〉外出——人とのつながりが広がる。

「学びタイ」＝ともに介護技術・制度のこと・医療のこと・こころを学び合おう。毎月のように「講座」を開き、介護者、介護職、医療者が〈まじくって〉の講師を交えての本音の懇親会で、人と



ある日の「さくらちゃん」のランチタイム。楽しいおしゃべりとおいしい食事。心もからだもほほけるひととき

のつながりが深まる。

「見守りタイ」＝本人・介護者のほとんどの方が〈わたしの話を聴いて〉。あれダメ、これダメの多い「介護保険」の中で「見守り——話を聴く、傍にひとがいる」。人とのつながりの支え合い。



介護を受ける人、介護をする人、介護が仕事の人…みんなくまじくる。左端がまるちゃんこと丸尾さん

4つの柱を活動の骨子としての歩みの中で、数珠玉の「出会い」が多々ありました。自分の人生設計の中に「介護を受ける」と入れている人は一人もいないでしょう。愛する家族にも他人にも介護を受けたい人など一人もいない！

「認知症状」がはじめた本人の〈不安〉〈怒り〉〈哀しみ〉。「自分の人生の未来が見えない、希望が断ち切られた日々の中での挫折感」。その傍で家族はその変化にオロオロ。家族の力の衰え（一人介護も多く、高齢化）や、地域力の衰弱（無関心、他人ごと）の中でこそ、〈まじくる〉〈つどい場〉が今以上に街のあちこちに増えるといいなあ。

「平穏死」を迎えるその時まで、その後も、その人と介護者の〈ゆたかな人生〉のさりげないサポーターでありたい！！

[まるちゃん（丸尾多重子）]

認知症の方に対する摂食・嚥下リハ
日 時：12月12日（木）13:30～16:00
会 場：西宮市民会館 4F
受講料：正会員 1,800円 一般 2,000円

かいご学会 in 西宮 2014「まじくる」
日 時：2014年3月16日（日）10:00～16:45
会 場：西宮市勤労会館 大ホール
受講料：3,000円（学生 1,000円）・当日 3,500円
共 催：西宮市・西宮市社会福祉協議会
第1部「死をしゃべくりあわな はじまらん」中村仁一さん・長尾和宏さん
第2部「つどわな はじまらん」介護家族・つどい場やってる人
第3部「かんがえな はじまらん」三好春樹さん

BetterCare はケアラズのための雑誌です。

介護で悩んでいる人、
迷っている人を応援します

知っている助けになる
介護保険制度を丁寧に解説します

認知症や延命など、いま話題の
介護情報を取り上げます

ほっこり和みたい人にも、
おすすめです

全国に仲間が
たくさんいます

■次号 61号 特集1 健康づくりを基礎にしたまちづくりモデル
特集2 介護に初めて出会うとき
対談 民俗学者、介護に出会う
六車由実さん* 浜田きよ子さん

株式会社芳林社「Better Care」〒160-0022 新宿区新宿 2-15-24 ヒカリビル 5F
TEL: 03-3341-2660 FAX: 03-5360-8264 Email: campo@horinsha.co.jp

年4回発行
(A4判・56ページ)
定 価：1冊500円
年間購読：2,000円
(いずれも送料・税含む)

